

単元名	「食の防災について考えよう」	学年	6年生
内容	B_地域の創生 カ：地域の取組の提案型	総時間数	35
目標	「食の防災」をテーマに探究することを通して、非常時の食を守るための方略について理解できるようにする。また、地域のwell-beingにつながる取組である「ローリングストック活用レシピを考えて発信する活動」を実践することで、自分が地域社会の一員であることを自覚し、自分や他者を大事にして、地域をよりよくしようとする態度を養う。		

指導計画の概要

学習過程	主な学習活動	外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田小学校防災活動拠点本部から、羽田地域の避難所、防災対策についての依頼を受ける。 ・災害における不安や心配について想起し、「安全・安心」について考える。 ・羽田空港の防災対策についてデータ等を用いて調べ、考える。 ・空港の防災対策や働く人の対応を踏まえ、羽田のまちの防災における問題点を見付け、課題を設定する。この際、羽田小学校が避難所となるということに着目する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京学芸大学 (STEAMチーム) ・日本空港ビルデング ・図書「空港のひみつ」
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田地域の避難所、防災対策、対応について計画を立てる。 ・羽田地域の避難所、防災対策、対応計画を具現化するためのアイデアを出し、試作品を作る、具体的に開発するなどする。 ・家庭や地域に向けて提案するための準備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京学芸大学 (STEAMチーム) ・日本空港ビルデング ・羽田特別出張所
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・「10月10日羽小防災の日」に、地域や保護者、関係諸機関に提案発表会を行う。 ・地域や保護者からのフィードバックを受けてさらにブラッシュアップし、羽田小学校全校児童に提案発表を行う。 ・HPなどを通して、考えたことを地域に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京学芸大学 (STEAMチーム) ・羽田特別出張所 ・学校防災拠点本部 ・羽田地区各町会 ・消防署等関係諸機関

本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数

教科名等	本単元で補完する内容		授業時数
国語	話すこと・聞くこと	・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	9
	話すこと・聞くこと	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	
	書くこと	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。	
	書くこと	・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	
算数	データの活用	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。	3
理科	物質・エネルギー_第6学年	・「物質・エネルギー」の内容で学んだことを生かし、ものづくりを行うこと。	3

図工	共通事項	・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。	2
家庭	家族・家庭生活	・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。	3
	衣食住の生活	・おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。	
	消費生活・環境	・環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。	
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。		15